

## ELNETとNTTドコモビジネス、 新聞記事を活用した生成AIサービス「ELNET AI」を共同開発 ～2026年4月よりパイロット版の提供を開始～

株式会社エレクトロニック・ライブラリー(以下 ELNET)と NTTドコモビジネス株式会社(旧 NTTコミュニケーションズ株式会社、以下 NTTドコモビジネス)は、日々提供される最新の新聞記事を横断的に活用することを目的とし、効率的な情報整理を実現する法人向け生成AIサービス「ELNET AI」(以下本サービス)を共同で開発しました。

本サービスの正式リリース(2026年10月予定)に先立ち、2026年4月1日より、全国紙を含む報道機関26社<sup>\*1</sup>の協力を得て、ELNETのクリッピングサービス<sup>\*2</sup>をご利用中の一部企業を対象にパイロット版の提供を開始します。<sup>\*3</sup>

### 1. 背景

近年、メディア・情報活用の分野では、企業が膨大な新聞記事や報道情報を迅速かつ正確に把握し、業務や意思決定に活用したいというニーズが高まっています。

一方で、従来の新聞記事クリッピングサービスでは、新聞記事の内容把握や整理、関連情報の抽出、レポート作成といった作業において、人手に依存する部分が多く、担当者の負荷や情報活用のスピードが課題となっていました。

こうした課題に対応するため、ELNETとNTTドコモビジネスは、新聞記事を横断的に活用し、生成AIによって効率的な情報整理を実現する法人向けサービス「ELNET AI」を開発しました。本サービスの提供により、ELNETが採録・蓄積した最新の新聞記事から過去10年分<sup>\*4</sup>の新聞記事と生成AIを融合させることで、企業が取得・活用する情報の幅を広げ、DX推進と意思決定の高度化に貢献します。

### 2. 本サービスの概要

本サービスは、ELNETが保有する豊富な新聞記事データを活用し、生成AIによってトピックスの整理・分類・レポート作成を行うサービス<sup>\*5</sup>です。

チャット画面から質問を入力するだけで、信頼性の高い新聞情報をもとに生成AIが回答を作成するため、誰でも直感的に利用することができます。

日々多くの新聞記事に目を通し、要点整理や社内共有のための資料作成に時間を要している場合でも、必要な情報の把握から出典確認までを効率的に行うことが可能となり、業務負荷の軽減と情報活用の高度化に貢献します。

また、生成された回答には参照元となる記事が紐づけられており、2社が独自に開発した収益分配モデル<sup>\*6</sup>(特許出願中)により、記事の利用度に応じた対価を新聞社・通信社に適切に還元します。

サービスの詳細は、[こちら](#)からご覧ください。

### 3. 本サービスの特長

パイロット版提供時における本サービスの主な特長は以下のとおりです。

#### ①生成 AI による新聞記事の横断的な情報整理

当日の朝刊を含む全国紙・専門紙・ブロック紙・地方紙などの記事を横断的に整理し、生成 AI が回答を生成します。新聞記事を情報源としているため、出典の信頼性が高い情報にもとづいた回答が可能です。

#### ②回答内容とあわせて出典記事の確認が可能

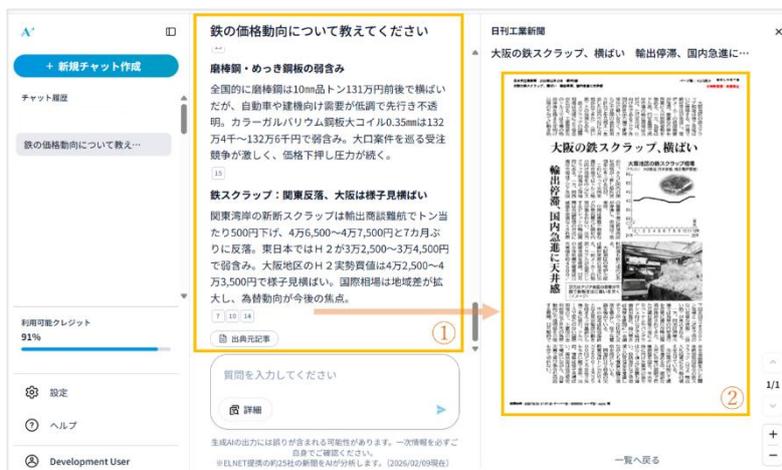
生成された回答内容に利用された記事原文を確認できるため、ファクトチェックや内容確認も容易に行うことが可能です。

#### ③セキュリティ・コンプライアンスに配慮した安心のサービス

データは暗号化された環境で安全に管理され、お客様がチャットに入力した情報は AI モデルの学習には利用されません。また、提供する記事については、新聞社・通信社などの著作権者から許諾を得ており、コンプライアンスにも配慮しています。



ホーム画面



回答画面（①生成データ ②記事原文※）

※日刊工業新聞 2025年12月16日付 掲載許諾済

<本サービスの利用画面イメージ>

## 4. 今後の展開

パイロット版提供の成果をもとに、正式サービスの提供を 2026 年 10 月に開始する予定です。

今後も ELNET と NTT ドコモビジネスは、パイロット版を通じて得られる利用状況やお客さまからのフィードバックを踏まえながら、生成 AI による情報整理・活用の高度化や機能改善を進めるとともに、対象とする新聞・通信社の拡充などを検討していきます。

これらの取り組みを通じて、信頼性の高い新聞情報を企業の意思決定や情報活用につなげる生成 AI サービスとして、本サービスの価値向上を図っていきます。

※1：2026 年 4 月 1 日のパイロット版提供時点で実証実験にご協力いただく新聞・通信社は以下の通りです。

(2026 年 3 月 24 日時点の予定)

全国紙：朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、産経新聞

専門紙：日刊工業新聞、電波新聞、ガスエネルギー新聞、週刊粧業、

電子デバイス産業新聞（半導体産業新聞）、鉄鋼新聞、保険毎日新聞、日刊建設工業新聞、

建設通信新聞、商業施設新聞、織研新聞、食品新聞、住宅新報

ブロック紙：河北新報

地方紙：信濃毎日新聞、京都新聞、神戸新聞

スポーツ紙：日刊スポーツ

通信社：時事通信 など、新聞 24 紙、通信社 2 社

※2：クリッピングサービスとは、新聞、雑誌、Web メディアなどから、自社や関連業界に関する記事を収集・整理し、定期的に報告するサービスです。

※3：本サービスの内容は、実証の過程で一部変更となる場合があります。また、ご利用範囲および条件は、会員規約に定める内容が適用されます。

※4：2026 年 4 月 1 日のパイロット版提供時点では、過去 5 年分の新聞記事を想定しています。

※5：ELNET のクリッピングサービスをご利用されているお客様向けのオプションサービスです。

※6：収益分配モデルとは、ユーザーへの回答に貢献した記事の影響度を分析し、その影響度に応じて収益を還元する仕組みです。

### 【ELNET 会社概要】

社名：ELNET(株式会社エレクトロニック・ライブラリー)

所在地：〒104-0031 東京都中央区京橋 2-12-6

TEL：03-6271-0670(代表)

URL：<https://www.elnet.co.jp/>

ELNET は 1986 年創立(創立 40 年目)。新聞・通信・出版各社発行の新聞雑誌記事を横断的に取り扱うクリッピング・データベース事業会社として、電通、朝日新聞社、読売新聞社、NTT ほか多数の株主の皆様のご協力を得て設立されました。新聞、雑誌、WEB ニュースのクリッピングおよびデータベースを企業や官公庁、大学などのお客様に提供しています。著作権許諾済みの蓄積記事は 5,000 万件を超えました。

ELNET は 2026 年に 40 周年を迎えます。この度、創業以来の当社の使命を遂行しつつ、「新ステージへの躍進」を表現し、40 周年ロゴを作成いたしました。



【NTT ドコモビジネス株式会社 会社概要】

社名：NTT ドコモビジネス株式会社

所在地：〒100-8019 東京都千代田区大手町 2-3-1

「NTT コミュニケーションズ株式会社」は 2025 年 7 月 1 日に社名を「NTT ドコモビジネス株式会社」に変更しました。私たちは、企業と地域が持続的に成長できる自律・分散・協調型社会を支える「産業・地域 DX のプラットフォーム」として、新たな価値を生み出し、豊かな社会の実現をめざします。

つながり。驚きを。幸せを。



<https://www.ntt.com/about-us/nttdocomobusiness.html>

【本件に関するお問い合わせ先】

ELNET（株式会社エレクトロニック・ライブラリー）

経営企画部企画課

TEL :03-6271-0670(代表)

ML : contact@elnet.co.jp

NTT ドコモビジネス株式会社

ビジネスソリューション本部スマートワールドビジネス部

ジェネレーティブ AI タスクフォース

ML : jinji-4bs@ntt.com

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】

ELNET（株式会社エレクトロニック・ライブラリー）

経営企画部企画課

TEL :03-6271-0670(代表)

ML : contact@elnet.co.jp

NTT ドコモビジネス株式会社

経営企画部 広報室

ML : pr-cp@ntt.com